

タイトルの「岁月縫纈 葳蕤生香」は「素晴らしい思い出はいつまでも忘れずに、未来は常に花が咲き誇り、春のように明るく希望に満ちていることを願う」という意味です。

第5回

スィ ユエ チェンチュエン ウェイ ルイ ションシアン
岁月縫纈 葳蕤生香

王 克麗（ワン・ケリ）

1992年、中国の河南省生まれ。

日本の音楽や映画、ドラマを通して日本に興味を持ち、天津職業技術師範大学で日本語を学ぶ。2023年4月10日、中国語のALTとして白糠に着任。



白糠の紅葉を楽しみました

10月20日、毎年恒例の「ぐるっと庶路ダム紅葉ウォーク」に今年も参加しました。今年は、新しく着任した3人のALT（外国語指導助手）であるマリ先生、マリア先生、ブランドン先生も一緒に誘いして、美しい紅葉を楽しんできました。

実は8月に彼らが来たばかりの頃、このイベントのことを紹介し、「軽いウォーキングだから」と気軽に声を掛けました。みんな興味を持って「行ってみよう」と

すぐ引き受けてくれました。しかし、当日になると少し様子が変わりました。特にインドア派のマリア先生とマリア先生は「軽いウォーキングと聞いていたのに、13・2kmも歩くなんて！」と驚きの声。紅葉の美しさには感動しつつも、「ネットで景色を見るだけでも良かったかも」「わざわざ早起きして歩くのはちょっと大変だね」と苦笑いしていました。途中「これってウォーキングじゃなくて、ハイキングだね？」と冗談を交えながら笑い合い、和やかな時間が続きました。

一方で、私とブランドン先生にとっては、ちょうどいい距離でリフレッシュすることができました。道中では、みんなが互いの生活や最近の出来事をシェアするなど、楽しいひとときを過ごすことができました。ブランドン先生も「来年もぜひ参加したい」と言ってくれました。また一つすてきな思い出が増えました。

中国の秋のイベント

さて、このように日本では秋にウォーキングやアウトドアのイベ



ブランドン先生とお話ししながら紅葉を満喫しました。

ントが盛んですが、中国でも秋は大きなイベントが行われます。それが「体育祭」です。10月になると、多くの学校で体育祭シーズンがやってきます。秋の涼しい気候の中で開催されるのが一般的です。中国の体育祭は、日本の文化祭と体育祭が合わさったようなイベントです。先日、私が通動していた高校でも、二日間にわたって盛大に体育祭が行われました。初日はオープニングセレモニーから始まり、各クラスがダンスや歌、朗読などのパフォーマンスを披露します。審査員として、校長先生や教頭先生などの管理職の先生たち



中国の体育祭。オープニングセレモニーの様子です。

が点数をつけ、評価の高かった上位3クラスにトロフィーが贈られます。オープニングの後は、学生たちが自分の得意な競技に挑戦します。日本の体育祭と比べると中国の体育祭は、より「オリンピック的」と言えるかもしれません。高跳びや幅跳び、投てき競技などの個人競技も多く行われ、競技性が高いのが特徴です。

このように、中国の体育祭はパフォーマンスと競技の両方を楽しむことができるイベントです。学生たちにとっては、一生の思い出となる行事の一つです。